平成25年度　事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	教育情報機器の整備充実								継続
コード	24	－	92	－	01	－	00	予算事業名	教育情報機器の整備充実
担当部署	学校教育部		市立川越高等学校		管理担当			予算事業コード	会計 10 款 10 項 04 目 01

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）　位置付けなしの場合 無　　法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)			実施計画事業名	なし
方向性(節)			個別計画等の名称	なし
施策				
細施策			当事業に関連する事務事業	なし
事業実施の根拠となる法令・条例等	なし			

2. 事業の目的と概要

事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか）	生徒を対象に情報化社会に適した事業を実施するため。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	日常の授業により、パソコン及び周辺機器の操作・習得を目標とする。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		16,274	16,887	14,984	15,210	15,296	
（25年度予算額大幅増／減の理由）							
事業費	A	15,971	14,175	14,769	15,037	15,290	14,448
人件費	B	2,935	2,935	2,935	2,935	2,568	2,568
総コスト（C＝A＋B）		18,906	17,110	17,704	17,972	17,858	17,016
正規職員（1年間の従事人数）		0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	0.35人	0.35人
臨時職員（1年間の従事人数）		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D						
その他特定財源	E						
市の財政負担（＝C－D－E）		18,906	17,110	17,704	17,972	17,858	17,016

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

	評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値	
活動	3年間に渡る生徒への指導	人	277	273	274	279	277	26年度	288
	指標の定義・説明		市立川越高等学校生徒への情報処理授業(人数は卒業生徒数)						
成果	資格取得・検定合格者	人	101	103	101	114	120	26年度	130
	指標の定義・説明		卒業時における簿記、情報処理資格等の検定1級合格者数						
								年度	
	指標の定義・説明								
								年度	
	指標の定義・説明								
指標に基づく評価	毎年、1級に合格する生徒が多い。								

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況　課題はない

(2) 比較参考値（他市での類似事業の例など）

県内公立高校商業科においても、同様の授業を行っている。

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

年々、変化する情報化社会に対応する授業を行うことが困難になってしまう。

平成25年度事務事業評価　方向性提示シート

所管部署			学校教育部				市立川越高等学校	管理担当
事務事業名称			24	92	01	00	教育情報機器の整備充実	
今後３年間の方向性	25年度	継　続						
	26年度	継　続						
	27年度	継　続						